

2021年6月28日(月) 第5回 野田市生物多様性のだ戦略市民会議

野田市江川地区の 歴史&地形の魅力7選

新保國弘 東葛自然と文化研究所

- 1 昭和8年建立の江川耕地整理組合記念碑
- 2 明治44年・福田村江川耕地組合設立認可申請書
- 3 江川堤跡に明治41年竣工煉瓦製の坎樋1基現存
- 4 寛延3年(1750)以前から江川堤に木造坎樋2基設置
- 5 明治14年大殿井～深井の滴水合溜して三ヶ尾沼に
- 6 平安時代は伊勢神宮領主莊園「相馬御厨」の地
- 7 江川谷底低地2地点の古環境変遷と海水準変動

1 昭和8年建立・江川耕地整理組合記念碑

地積219町余

野田市瀬戸1-7 県道7号脇



江川耕整記念碑

(釈文)

千葉縣知事正五位勲四等富田文秀題額

東葛飾郡福田村江川耕地整理組合八大字上下西三ヶ尾ニツ塚瀬戸三ツ堀大青田及田中村大字船戸ノ一帯ヲ包容シ地積貳百拾九町餘ヲ算ス由來本地或ハ利根運河両側ノ間ニ介在セル低湿地ニシテ霖雨一度倒レハ悪水氾濫シ田畑ハ沼澤ト共ニ一面ノ泥海ト化シ耕入ノ辛苦一朝ニシテ水泡ニ歸スルノ状態ナリキ茲ニ於テ古來有志ノ間ニ排水路開鑿ヲ企画セルコト数次來々功成ラス多年徒ラニ自然ニ委ヌルノ外ナク郷人呼ンテ「秋無シ田」ト称ス

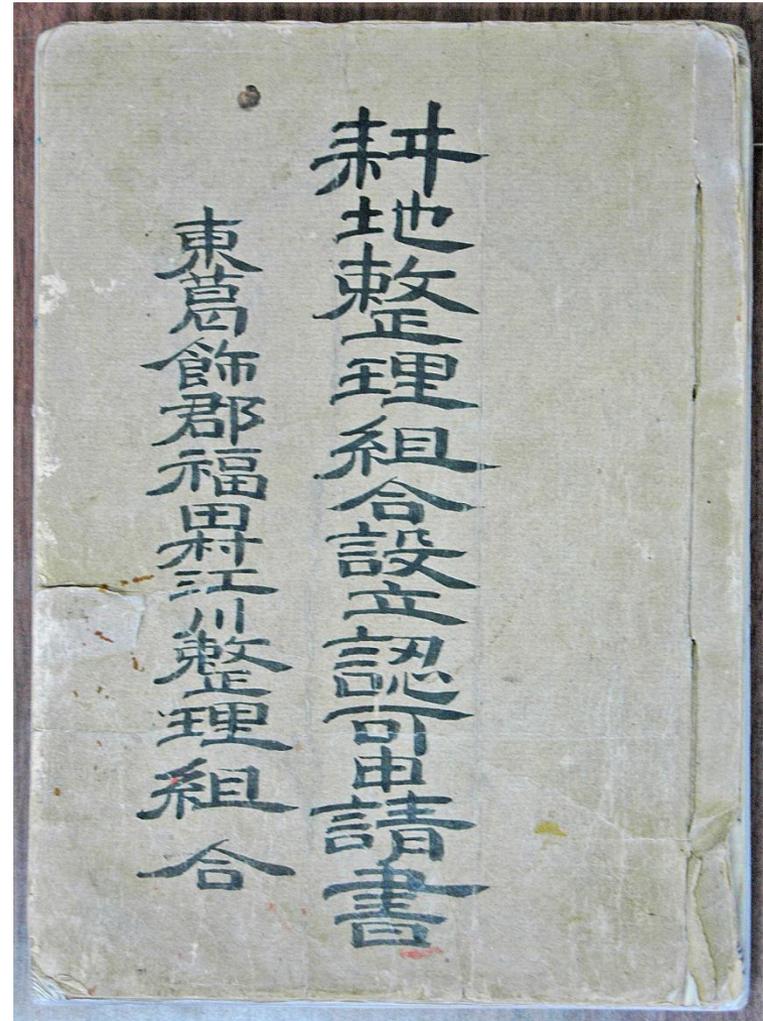
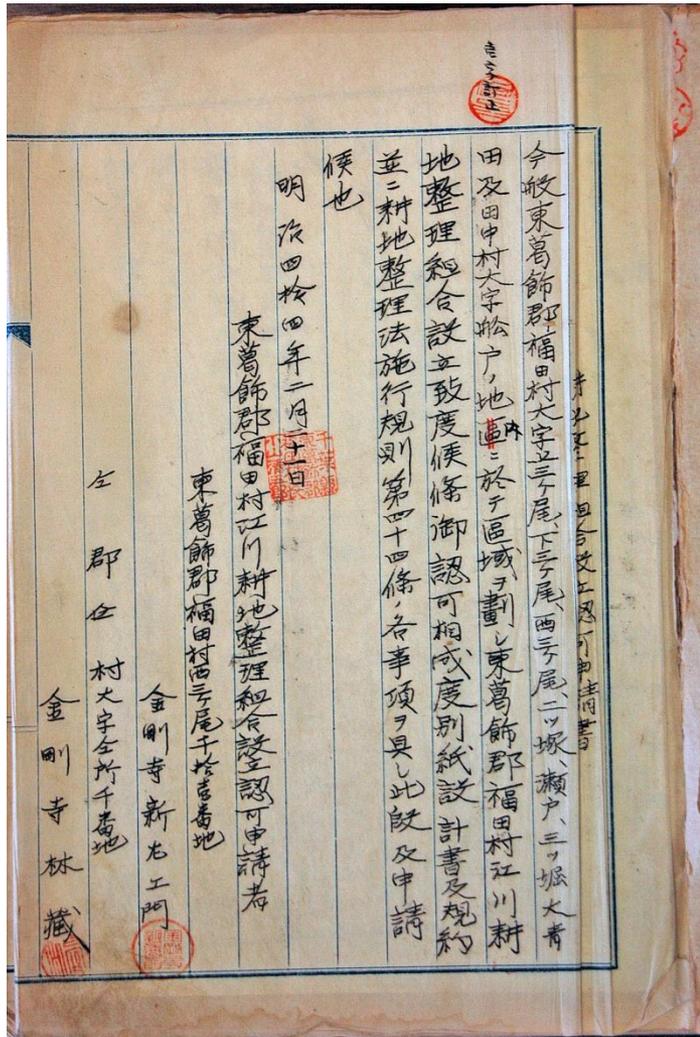
有志之ヲ憂ヘ状ヲ具シ縣ニ請フ縣乃チ技術官ヲ派遣シ地形ヲ審考シ排水改良計画ヲ定メ耕地整理法ニ則リ実施スヘキ方策ヲ示シ諸般ノ事務ヲ整ヘ明治四十五年二月耕地整理組合ノ設立認可ヲ得翌三月工ヲ起シ事業費五萬円ヲ投シ排水機ヲ設置スルト共ニ排水路ヲ開鑿シ以テ雨水ノ排除ニ努メ池沼ヲ開鑿シ積極的ニ耕地ノ改良ヲ斷行セリ

偶昭和七年時局匡救事業ノ施設ニ当リ工費
千貳百餘圓ヲ投シ水田壱町四段歩ヲ開鑿シ
橋梁ノ改築ヲ行ヒ其ノ業績ヲ舉ク此ノ間組
合員和衷協賛克ク斯業ノ遂行ヲ授ケ事業ノ
完成ヲ告ク爾來農業者生産倍加シ農村振興ノ
基礎漸ク成リ百年ノ憂患全ク絶ニ誠ニ昭代ノ
詳事ト云フヘシ

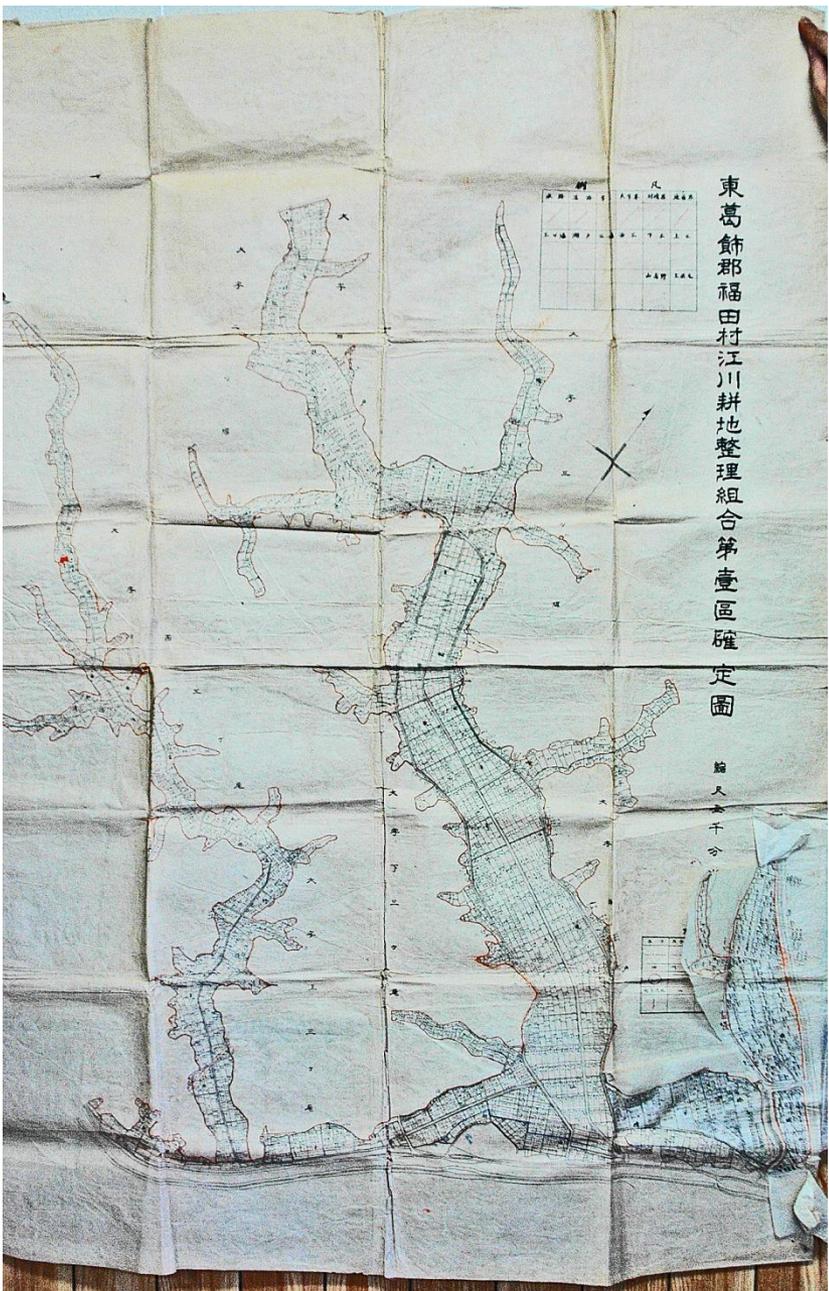
昭和八年五月三日

千葉縣耕地課長從五位勲五等山中謙輔撰文
千葉縣屬小谷顯藏書丹

2 明治44年・福田村江川耕地組合設立認可申請書 437頁＋地図3枚α(現形図・予定図・確定図etc)



第壹区確定図：縮尺參千分之壹
申請者：金剛寺新左衛門 他十二人
宛先：千葉県知事告森良
組合規約：三五条
總面積：百八六町二反五畝十九步
池沼：二十町
沼：二十六町（上下三ヶ尾字江川・福田村持）
鶴小字：三ツ堀字下鴻ノ巢、鴻ノ巢、鶴ヶ久保
同意者總数：二七五人

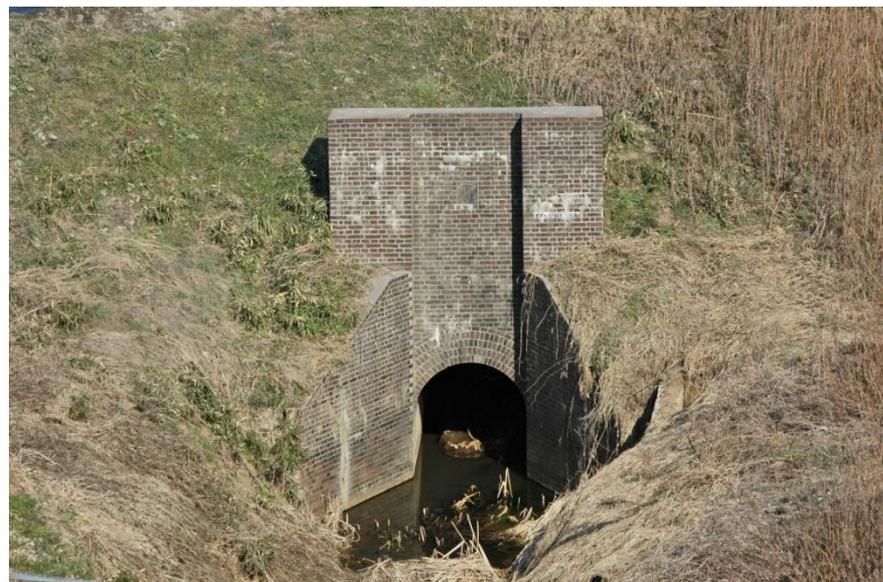


3 江川堤跡に明治41年築樋煉瓦製・圀樋1基現存

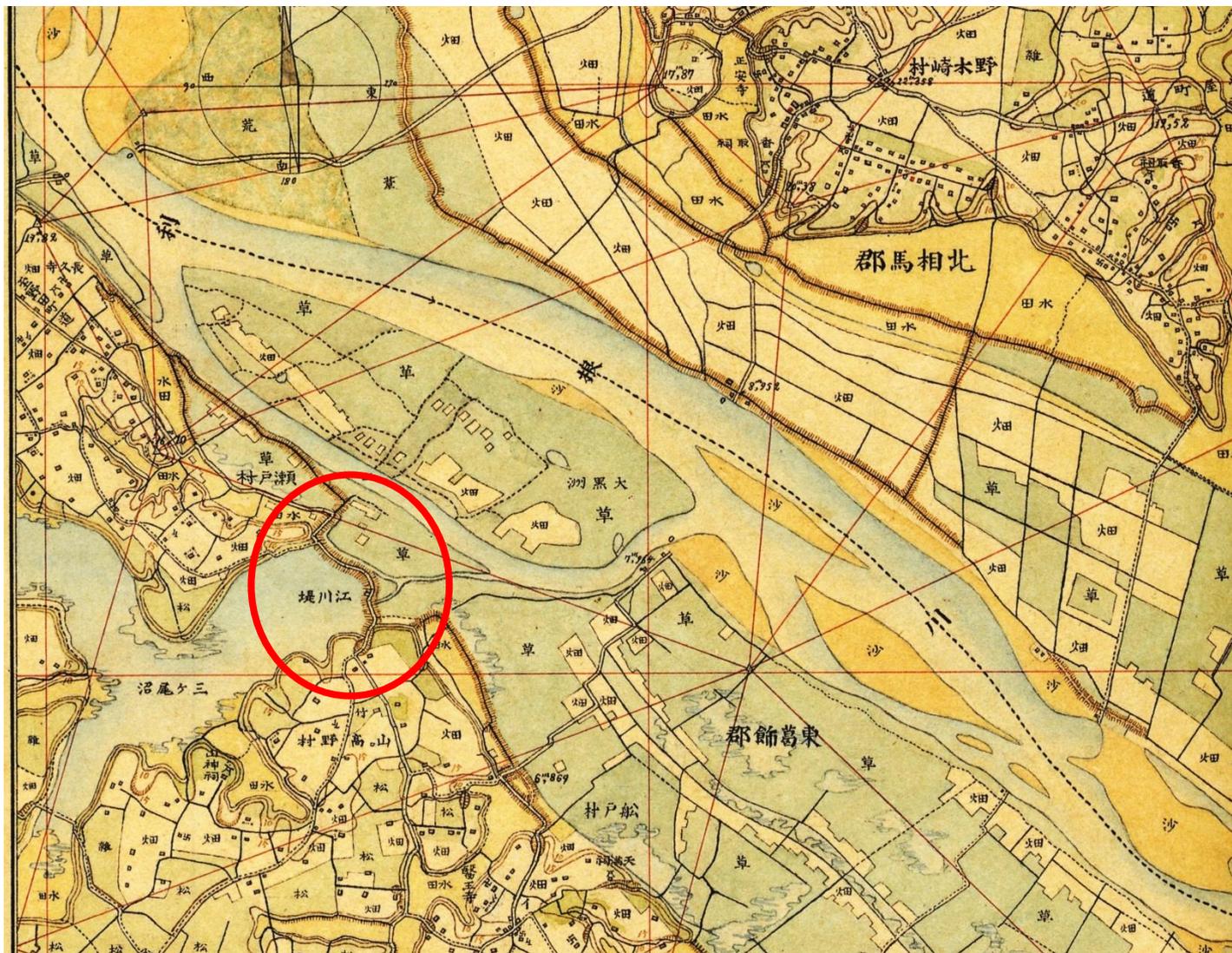
川裏面

川表面

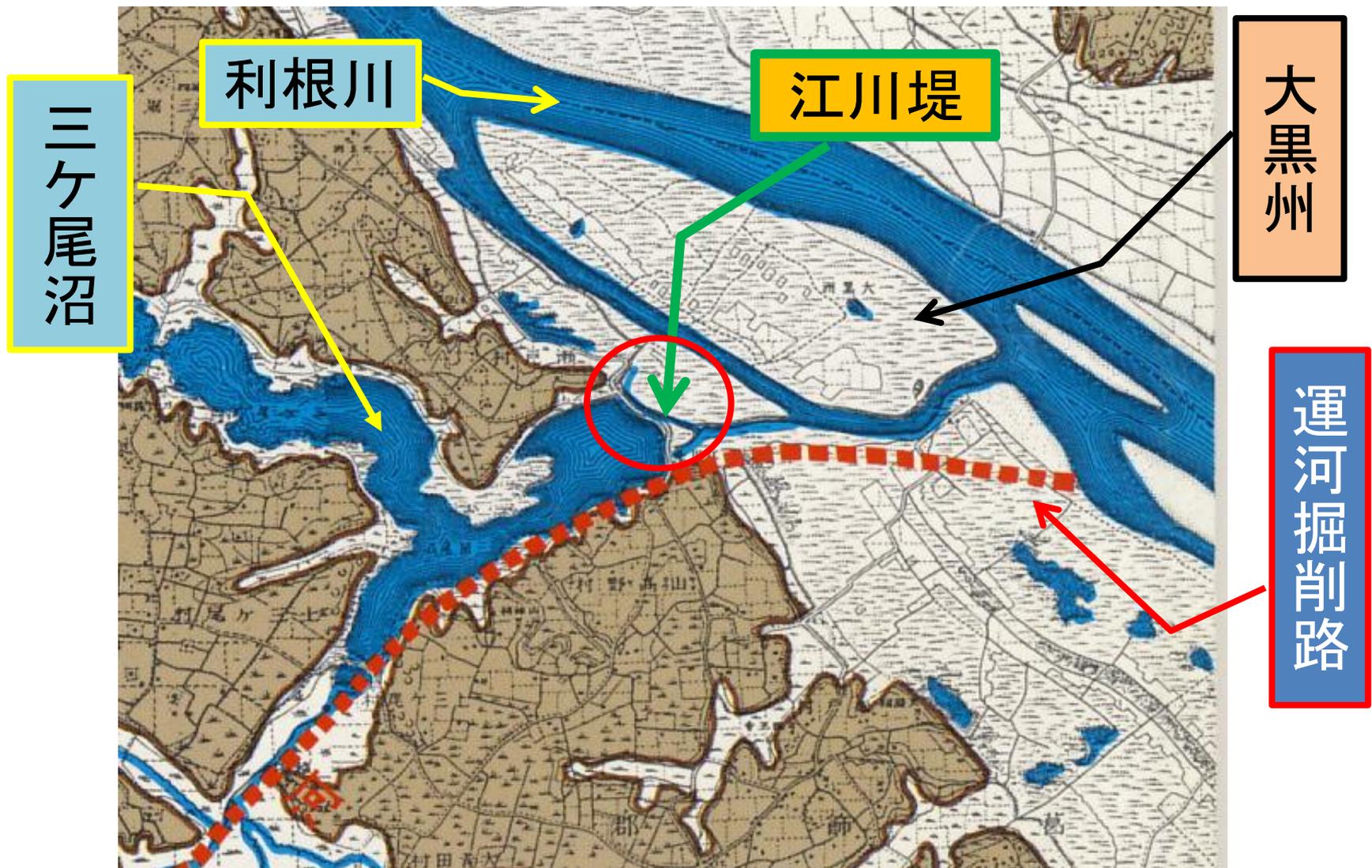
銘板：明治四拾壹戊（つちのえ） 五月 築樋



明治14年3月陸軍迅速測図(2万分之1)の江川堤



4 寛延3年(1750)以前から江川堤に木造坎樋2基設置



瀬戸の岡田家文書

寛延三年（1750）

「三ヶ尾村坊樋伏替代金請取書」

惣高金七十八両一分永二十九文九步

組合坊樋式ヶ所御伏替御修復御材木大工釘鉄物鳶人足木挽賃等書面之通

文化十一年（1814）

「江川堤悪水落坊樋伏替二願書」

一 悪水落上坊樋 長十二間（約22m） 馬

四尺 横二間 一個所 是八十四年巴前天

明八申年宮村孫左衛門様御代官之節御伏

替被 仰付、其後寛政八辰年竹垣三右衛

門様御代官所之節、戸前樋尻御修復被

仰付、其後修復無之候間、木品悉朽腐、悪

水仕兼難儀仕候間、御伏替御普請請奉願

上候

（中略）御料私領組合八ヶ村高二千百五十

一石三斗御出金御普請所二御座候

瀬戸の岡田家文書

文久二年(1862)

「江川堤坎樋御普請購入用控」

五月二八日 青田村・瀬戸村兩人立替

一金二分 是八御家来礼

六月七日 瀬戸村

一金一分 人足之者へ酒代

慶応三年(1867)

「乍恐書付奉願上候」

江川堤長式百四拾間余(約436m)

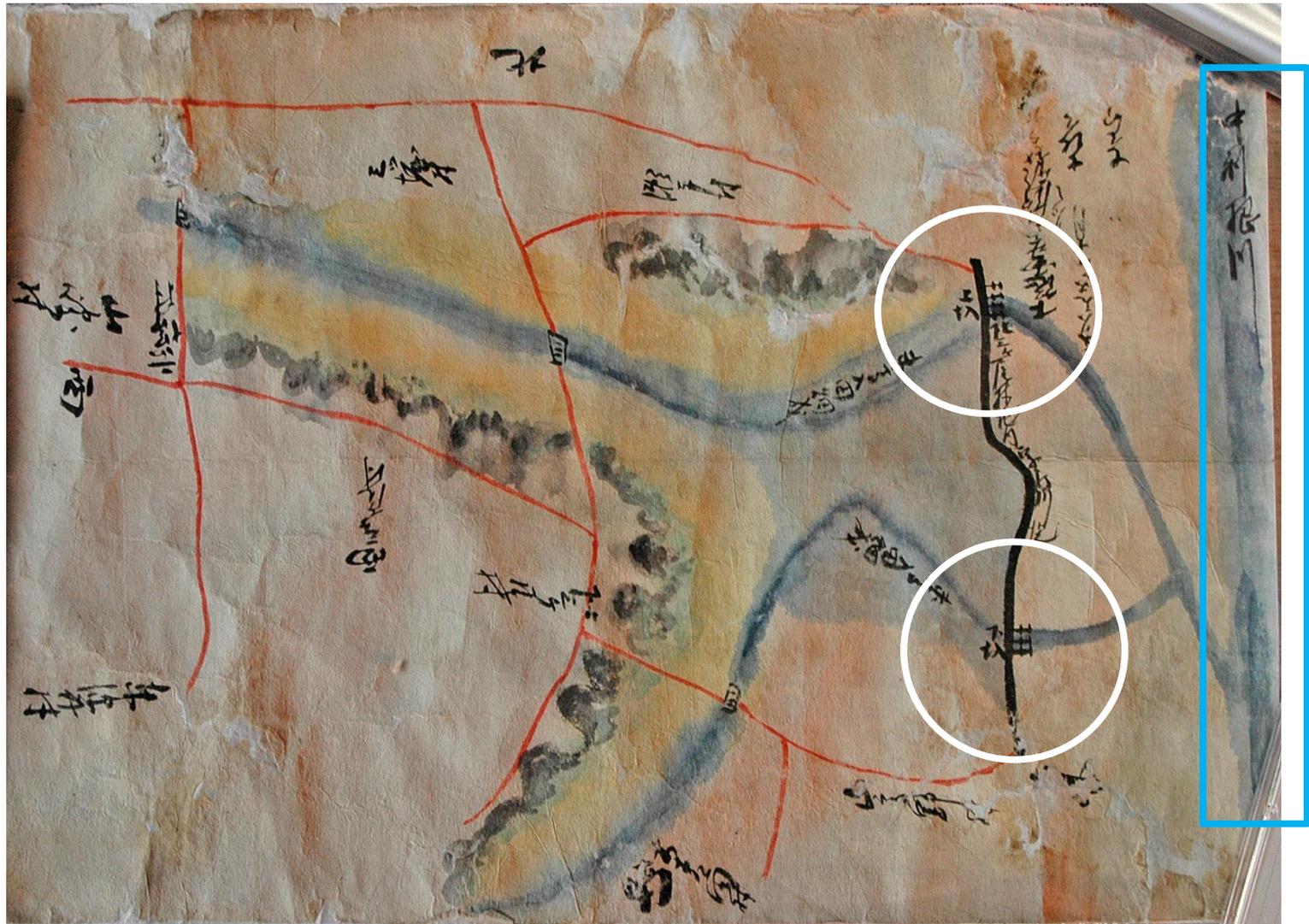
明治自二五年五月・至二七年十月

「江川堤坎樋修繕費及悪水路浚渫治水費
藻刈費賦課法」

一金四百二十二円九十一銭

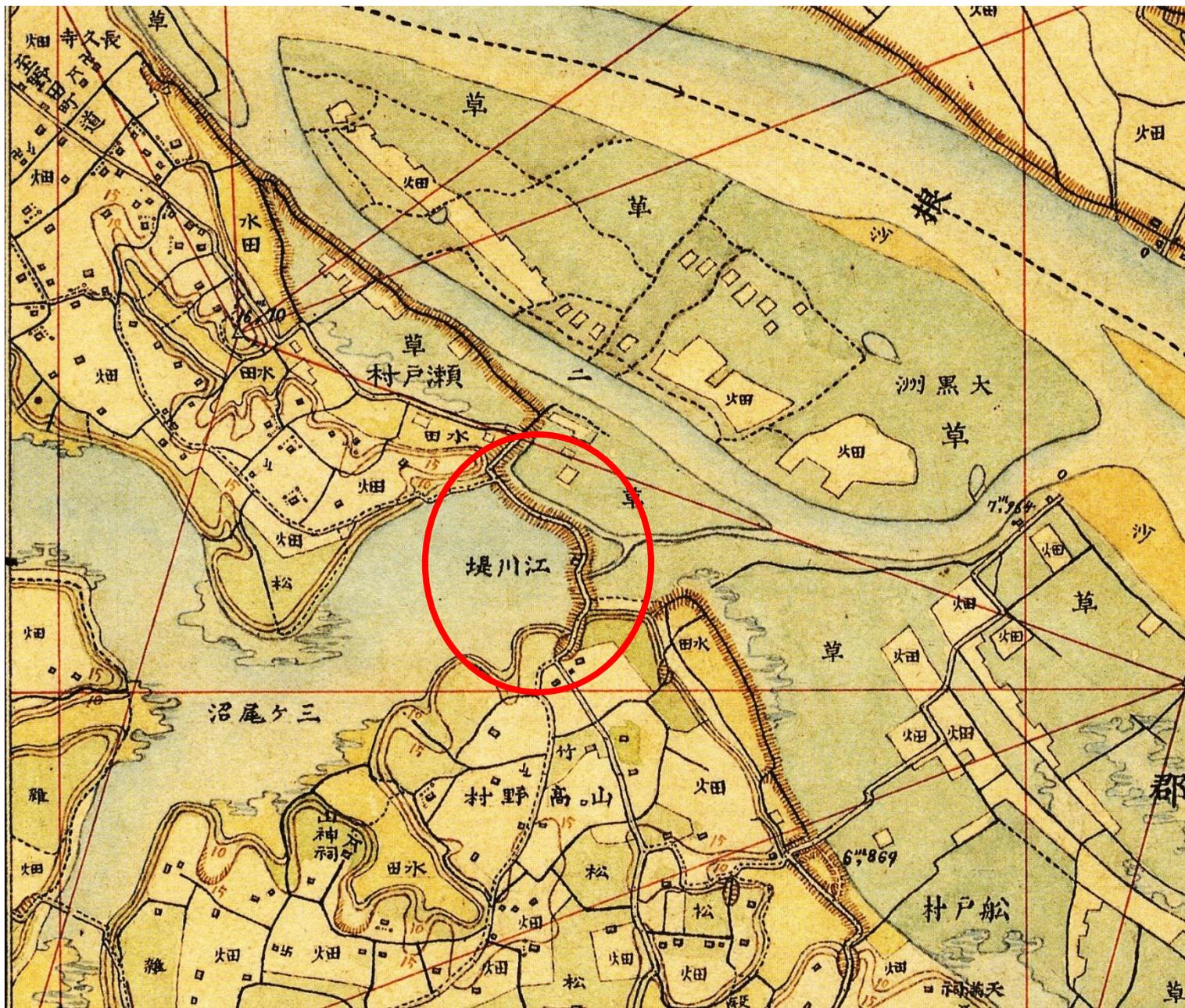
但シ 江川組合上下西三ヶ尾三ツ堀瀬戸
二ツ塚組合 高千六百十一石一合六勺七
十六ヲ以賦課ス

慶応2年(1866) 上三ヶ尾村下三ヶ尾村絵図
「上垵」「下垵」「中利根川」 安蒜五郎家文書



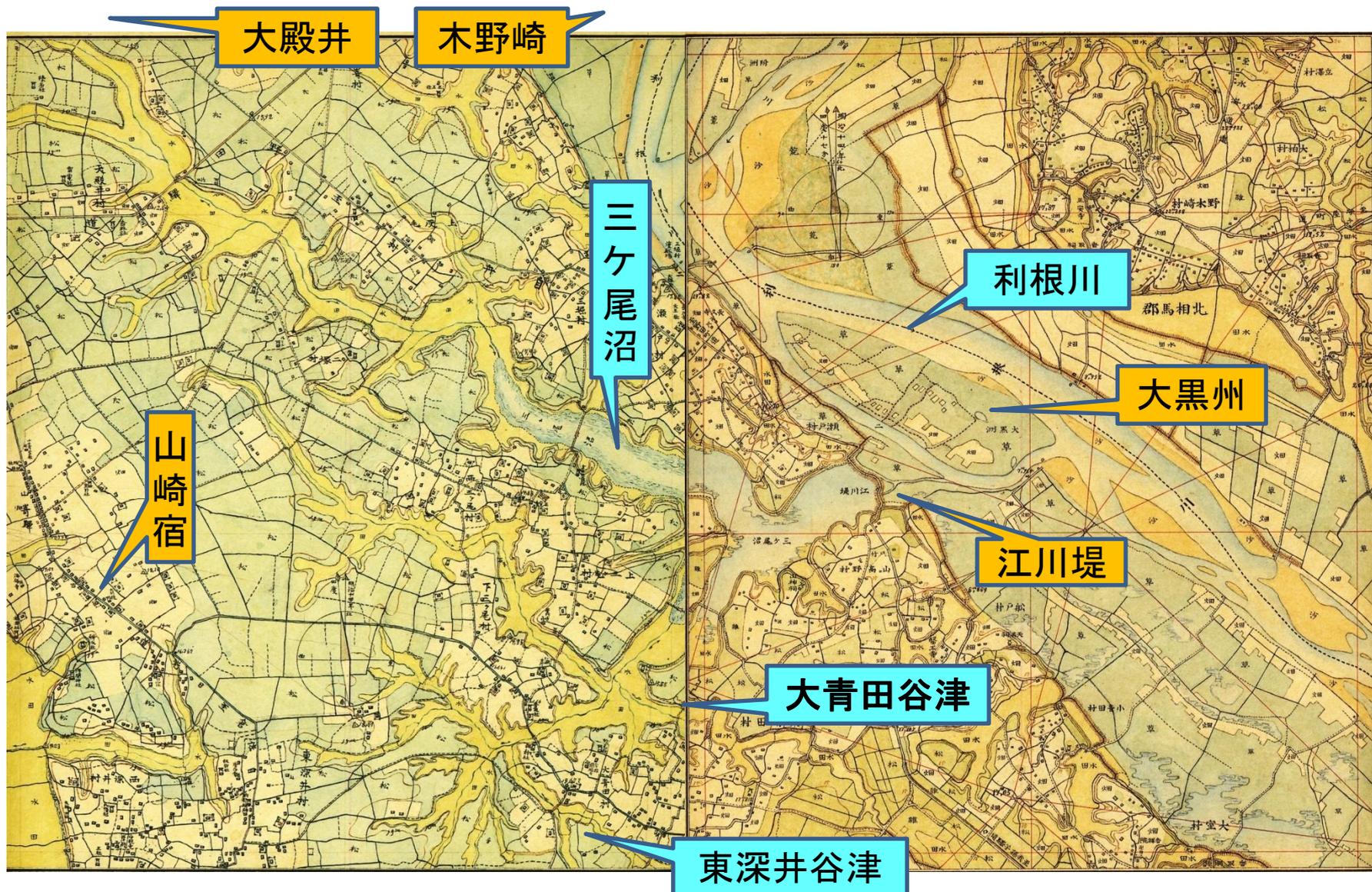
江川堤

明治14年陸軍迅速測図



5 明治14年 大殿井～深井の滴水合溜して三ヶ尾沼に







『偵察録』 「秘 偵第貳番六」
明治一二年から一七年にかけて
陸軍参謀本部測量課が軍用の目的
で作成した兵用地誌（民情調査報告）

「偵察録」 明治十四年四月

第一測基第六測面第二班 第六碎部測手

陸軍工兵少尉 野村内蔵輔

地名 千葉県下総国東葛飾郡山崎宿近傍村落

瀬戸村ト三ヶ尾村ノ間ニ挾リテ三ヶ尾沼ト
唱ル小沼アリ

是レ木野崎大殿井瀬戸三ツ堀大青田深井
三ヶ尾等ノ滴水合溜シテ一ツノ沼トナル

其形チ東西ニ長ク南北ニ狭ク屈曲シテ殆ン
ト洋傘ノ柄ニ似タリ東西長キ處一千米突余
南北短キ處四百米突内外ニアリ水底溜土ニ
シテ深キ處ハ一米突余浅キ處五十七センチ米
突内外ニ止ル其面積凡ソ百町アリト云フ

既ニ開墾ノ企アリ目下協議中ナリト云フ其
溜ヨリ獲ル處ノ鮭鯉等アリト雖モ是又輸出
スルニ至ラス

山崎駅近傍、三ヶ尾村、一ツ塚村、瀬戸村、木ノ崎村、大殿井村、深井村、大青田村等、地形一般小起伏多ク、丘阜（きゆうふう）小高い山のこと）湾曲ヲナス、

就中（なかんづく）、東深井村ノ如キハ、丘阜、水田交々相混シ、其ノ景況名状ス可カラズト難モ、略亦、掌（手のひら）ヲ開ク力如シ、其ノ指ニ当ル処、丘トナリ、指間ノ処、田トナル故ニ、里言ニ、九十九出張ト云フ、

加之、丘上、松樹鬱塞（まつじゆうつそく）、他方ヲ壁セス、丘下低キ処、一様ノ水田ニシテ、其脈通シテ、三ヶ尾沼ニ連絡ス、

6 平安時代は伊勢神宮領主荘園・

「相馬御厨(そうまみくりや)」の地

写本文献

『鐚矢伊勢方記』神宮文庫所蔵

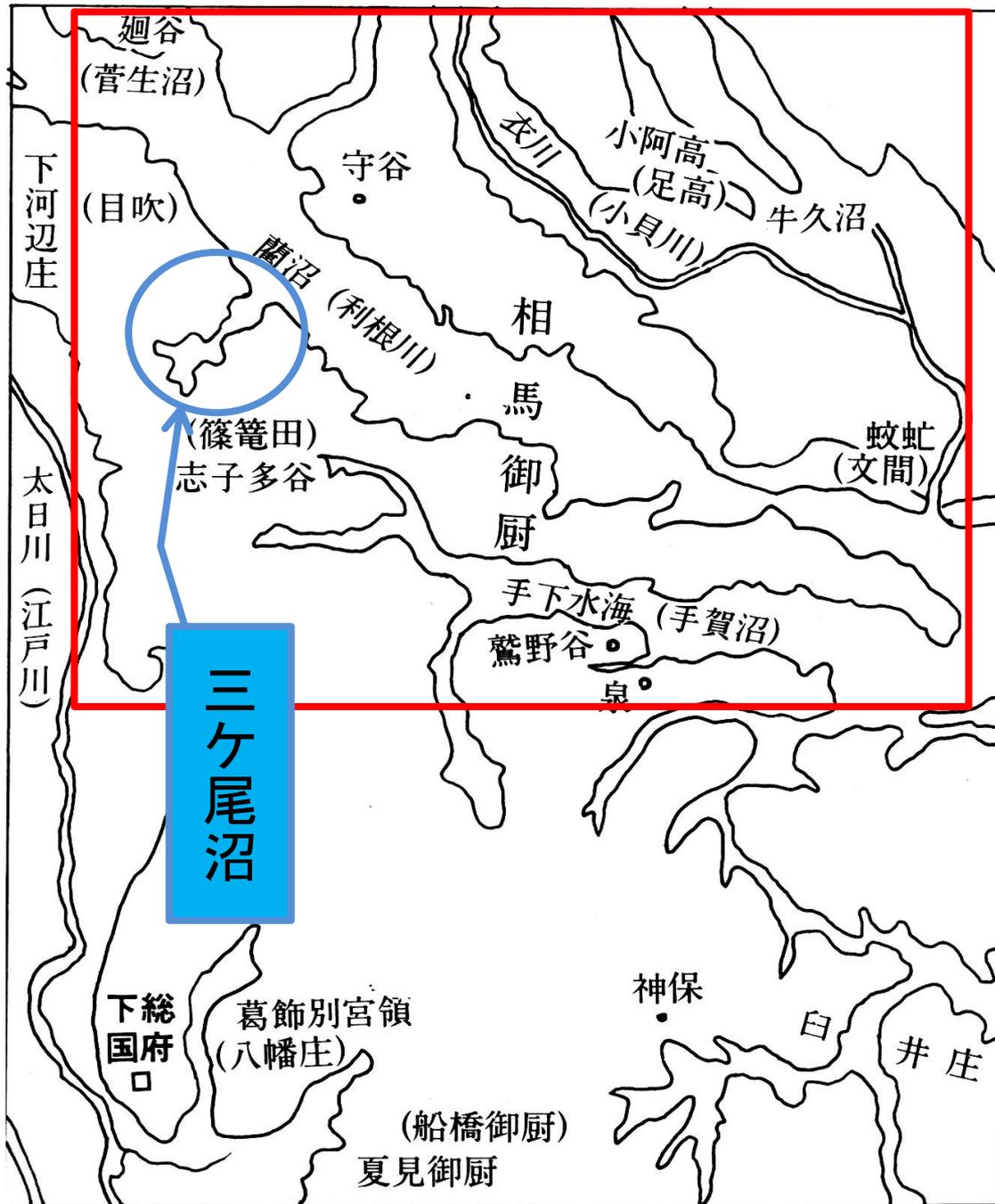
活字文献

『鐚矢伊勢方記』西垣晴次、東京学芸大学
付属高等学校研究紀要、1966

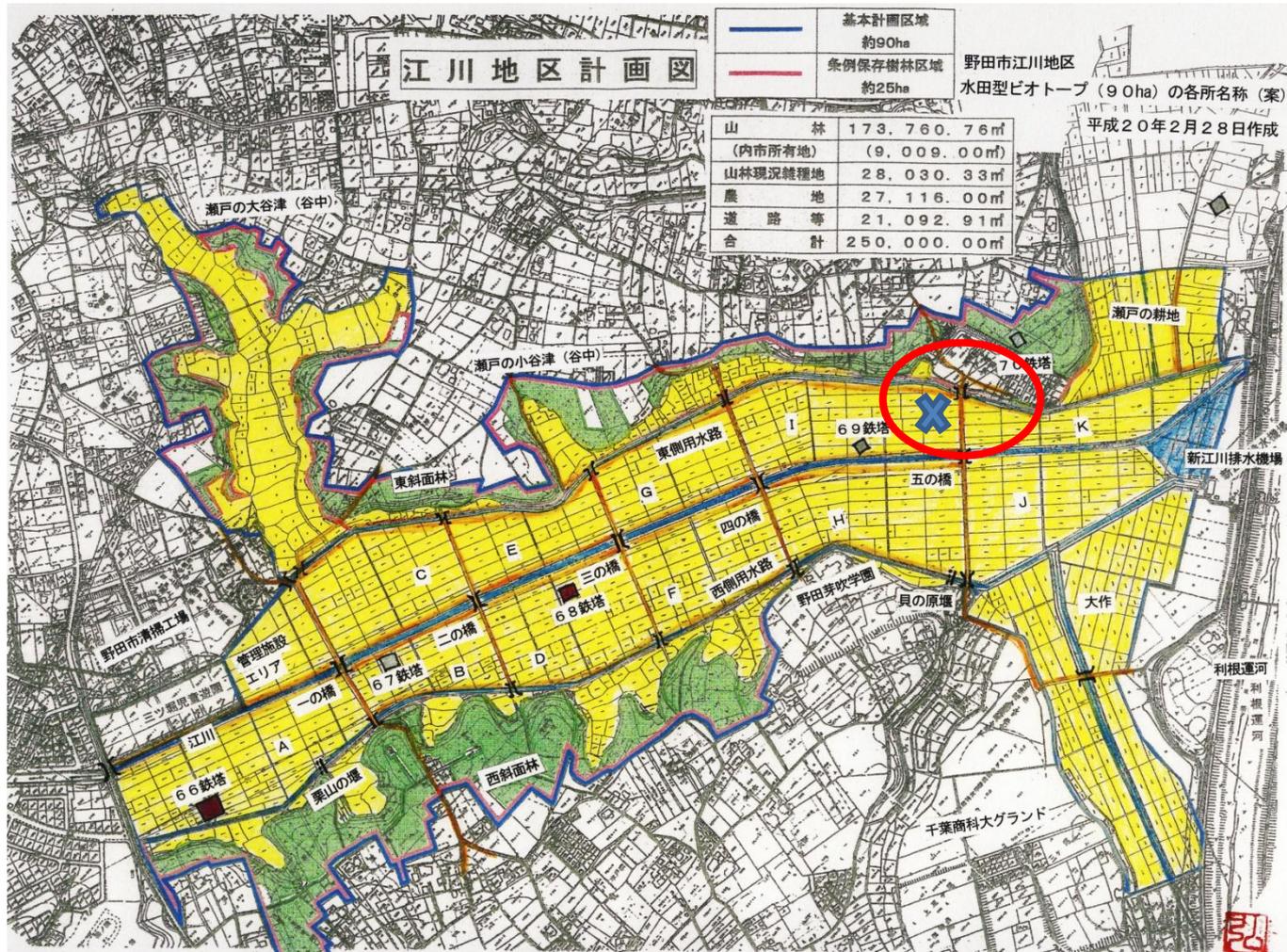
『鐚矢伊勢方記』収録126点の文書のうち
相馬御厨に係る文書47点
(37%)

相馬御厨寄進Ⅱ伊勢神宮に水運で献納物を
大治五年(1130)〜仁安二年(1167)

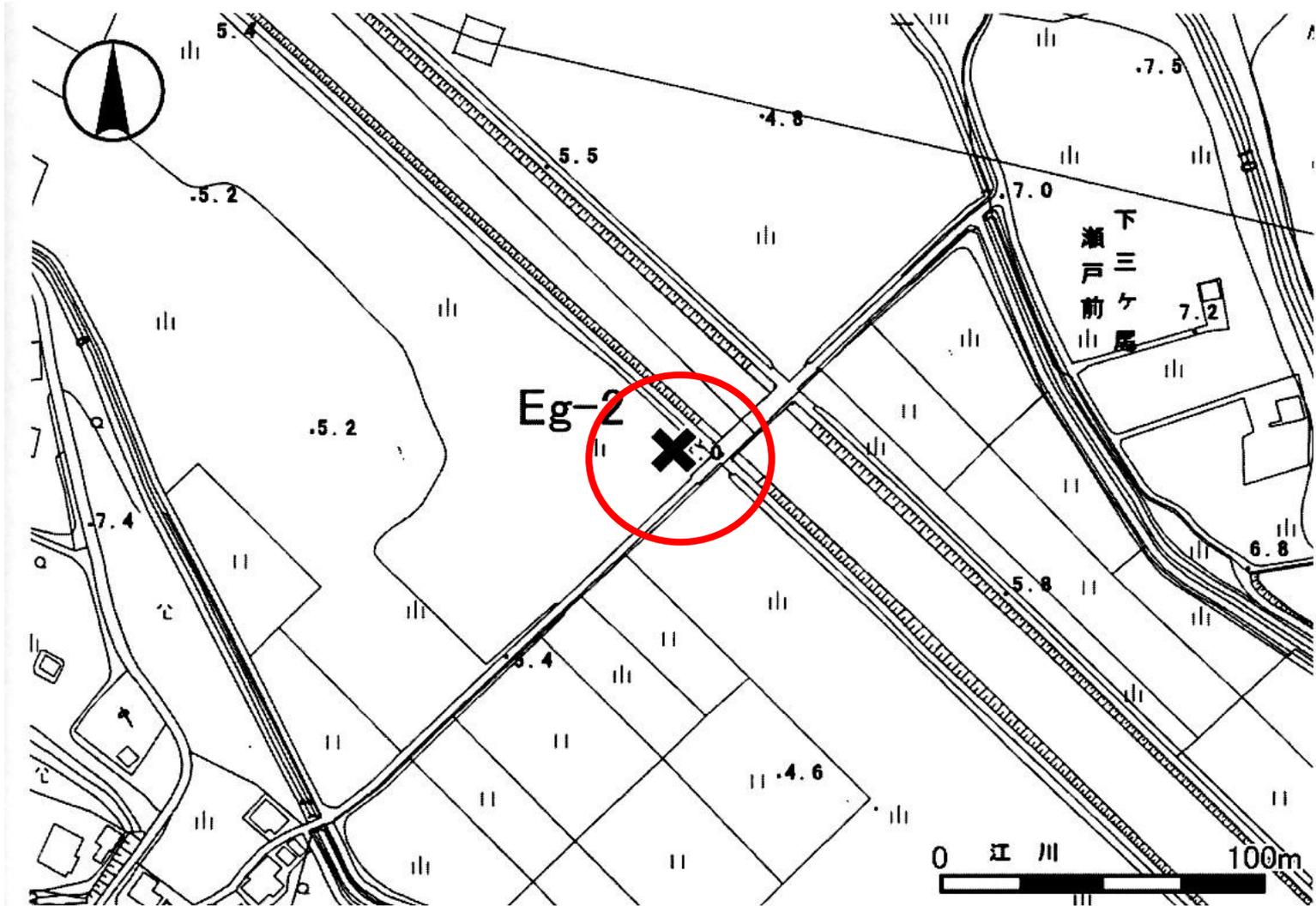
左の相馬御厨図は『千葉氏』千野原靖方1994引用
東限―蚊虻境(利根町文間・小貝川)
南限―志子多谷・手下水海(篠籠田・手賀沼)
西限―廻谷・東大路(菅生沼・目吹)
北限―小阿高・衣河流(伊奈町足高・鬼怒川)

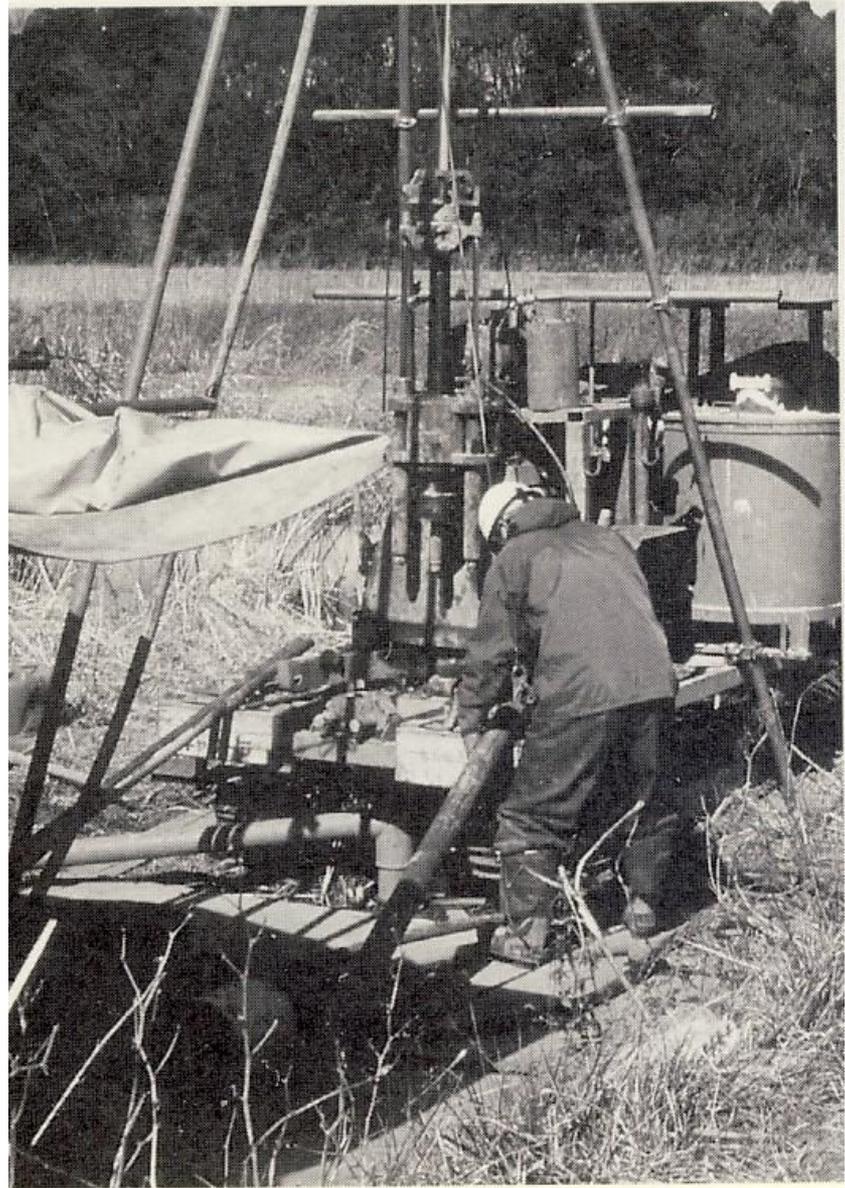


7 江川谷底低地2地点の古環境変遷と海水準変動



江川谷底低地2地点





文献

①『野田市古環境調査地質柱状図集』

杉原重夫、野田市、2010年

調査2000年、掘削深度18・22m

放射性炭素(C14)年代測定、貝化石

②千葉崇・杉原重夫「珪藻遺骸群集から推定される千葉県江川低地における完新世の古環境変遷と海水準変動」『野田市史研究第23号』野田市、2013年

江川谷底低地2地点の古環境の変遷と海水準変動

- ① 9000年前頃に縄文海進で海水が到達、塩生湿地環境から干潟が形成
- ② 海水準が更に上昇8500年前頃には海水が到着
- ③ およそ2500年間、内湾が形成されていたのでは
- ④ その後、海退に転じ、6000年前に干潟が形成
- ⑤ 5000年以降、更に海退が進み、干潟から塩生湿地に変化
- ⑥ さらに海退により淡水化が進み、4500年前頃に淡水湿地に変化
- ⑦ その後の耕作により、この後の記録は消失

江川谷底低地2地点における古環境の変遷

千葉崇・杉原重夫、2013年

